

麦類赤かび病の防除時期について

小麦や六条大麦の赤かび病の効果的な防除時期は、「開花始め」と「その10日後」です。

農業技術センターにおけるコムギの出穂期は、平年並となっており（表1）、赤かび病の防除時期も平年並と予想されます。すでに赤かび病の「子のう殻形成好適日」及び「子のう胞子飛散好適日」の出現が複数日で認められており（表2）、胞子の形成及び飛散量が増加している可能性があります。過去2年間、赤かび病の発生量は平年に比べ高い状態が続いていることから、ほ場における本病原菌の密度も高まっていると予想されるため、注意が必要です。

気象庁の1か月予報（4月4日発表）によると、今後の気温は高く、降水量は平年並～多いと予想されており、赤かび病感染に好適な条件となる恐れがあります。ほ場の生育状況を確認し、**2回防除を徹底**してください。

表1 小麦生育状況

品種	出穂期 *	平年値 **	播種日
イワイノダイチ	4/ 4	4/ 5	11/ 2
さとのそら	4/10	4/10	11/ 9
タマイズミ	4/10	4/ 9	

* : 農業技術センターほ場（作物部調べ）

** : 令和6年度主要農作物奨励品種特性表の値

表2 子のう殻形成好適日及び子のう胞子飛散好適条件発生状況

	子のう殻形成好適日 ¹⁾				子のう胞子飛散好適日 ²⁾			
	R6	R4	H14	H10	R6	R4	H14	H10
3月26日		●			▲	◎		
3月27日		●			▲	▲	▲	▲
3月28日				●	▲		▲	◎
3月29日	●		●		◎		▲	
3月30日	●		●		▲	△	▲	
3月31日			●		△	△	▲	
4月1日								▲
4月2日								▲
4月3日					◎	▲	△	▲
4月4日	●	●			◎	▲	△	
4月5日	●				▲			
4月6日			●	●	△	△	▲	◎
4月7日			●	●	△		◎	◎
4月8日	●		●	●	◎	△	◎	▲
4月9日	●			●	▲		△	▲

- 1) 子のう殻形成好適日
●: 降雨直後（当日及び翌日）かつ平均気温が13℃以上であった日
- 2) 子のう胞子飛散好適日
◎: 濡れ条件と温度条件を両方満たした日
▲: 濡れ条件のみを満たした日
△: 温度条件のみを満たした日
※ 濡れ条件: 降雨直後（当日または翌日）または湿度が80%以上
温度条件: 最高気温が15℃以上かつ最低気温が10℃以上
※ 平成10年は警報、平成14年および令和4年は注意報を発表した年度です。

* 岐阜市のアメダス地点データを基に作成（気象庁調べ）

- 農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>

- 当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>